

# 令和6年度第1回伊賀地域高等学校活性化推進協議会

令和6年8月8日

## 配 付 資 料

- 令和6年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会委員名簿・・・・・・・・・・ P 1
- 伊賀地域高等学校活性化推進協議会設置要綱・・・・・・・・・・ P 2
- 【資料1】 令和5年度第3回伊賀地域高等学校活性化推進協議会の概要・・ P 3
- 【資料2】 伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（5カ年比較）・・・・・・・・ P 5
- 【資料3】 伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況・・・・・・・・ P 6  
①令和6年3月卒、②令和5年3月卒
- 【資料4】 伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況の推移・・・・・・・・ P 8  
①人数、②割合
- 【資料5】 伊賀地域の県立高等学校(全日制)の入学者選抜の状況・・・・・・・・ P 10  
①令和6年度、②令和5年度
- 【資料6】 各高等学校の入学者の出身中学校と卒業者の進路状況・・・・・ P 12  
①令和6年、②令和5年
- 【資料7】 伊賀地域の県立高等学校への入学状況の推移【北部・南部】・・・・ P 14
- 【資料8】 令和6年度の協議について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15
- 【資料9】 伊賀地域の中学校卒業者数の推移と予測(含社会増減)・・・・・・・・ P 17  
①市別、②北部・南部別
- 【資料10】 伊賀地域の中学校卒業生数と県立高等学校入学定員の推移・・ P 19
- 【資料11】 全日制高等学校の設置学科と学級数の推移・・・・・・・・ P 20  
①伊賀市、②名張市
- 【資料12】 伊賀地域の高等学校等の学科・コースについて（令和7年度） P 22
- 【資料13】 伊賀地域の専門学科と総合学科の学び・・・・・・・・ P 23
- 【資料14】 令和21年度までの伊賀地域の県立高等学校（全日制）の  
総学級数と当協議会の協議について・・・・・・・・ P 24
- 【資料15】 伊賀地域の県立高等学校の特色（各学校より）・・・・・・・・ P 25
- 【資料16】 地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査の  
実施について・・・・・・・・ P 32  
①実施概要、②生徒用、③保護者用
- 【別添資料】 令和5年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ  
（令和6年2月）・・ 別冊
- 【別添資料】 県立高等学校活性化計画（令和4年3月）・・・・・・・・ 別冊



## 令和6年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会 委員名簿

No	区 分	所 属 等	氏 名	
1	学識経験者 (1名)	三重大学大学院 地域イノベーション学研究所 准教授	加 藤 貴 也	継続
2	有識者 (4名)	上野都市ガス株式会社 取締役保安工務部長	西 垣 浩 尚	継続
3		中外医薬生産株式会社 管理本部総務管理室長	かみ 出 ゆう 子	新
4		株式会社アサネットワーク 代表	伊 集 基 之	継続
5		オキツモ株式会社 経営管理部総務課長	加 藤 幸 司	継続
6	市教委教育長 (2名)	伊賀市教育委員会 教育長	たに ぐち しゅう いち	継続
7		名張市教育委員会 教育長	にし やま よし かず	継続
8	県立学校長代表 (3名)	上野高等学校 校長	すぎ しか ひで のり 則	新
9		あけぼの学園高等学校 校長	なか しば とも ひろ 宏	新
10		名張青峰高等学校 校長	みず もり きと し 士	継続
11	小中学校長代表 (2名)	伊賀市立城東中学校 校長	ふた い ひで お 夫	継続
12		名張市立赤目中学校 校長	やま もと かず ひろ 弘	継続
13	P T A関係者 (5名)	伊賀市P T A連合会 顧問 (伊賀市立霊峰中学校P T A)	やま した かい と 渡	新
14		名張市P T A連合会 顧問 (名張市立北中学校P T A)	きた がわ しょう じ 司	継続
15		伊賀地区県立学校P T A協議会 会長 (あけぼの学園高等学校P T A会長)	おか だ みどり	新
16		伊賀市内県立学校P T A 代表 (伊賀白鳳高等学校P T A会長)	みず の ち え み 智恵美	新
17		名張市内県立学校P T A 代表 (名張高等学校P T A会長)	あん どう み ほ 穂	継続
18	教員代表 (2名)	伊賀市立上野東小学校 教諭	かつ しま だい すけ 輔	新
19		名張青峰高等学校 教諭	ふじ たか て る や 也	継続

計19名

## 伊賀地域高等学校活性化推進協議会設置要綱

### (設 置)

第1条 県立高等学校の活性化を推進し、地域社会における高等学校の特色化、魅力化を図り、生徒にとって魅力ある学習環境を整備するために、伊賀地域高等学校活性化推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について具体的に協議する。

- (1) 今後の伊賀地域全体における県立高等学校の在り方に関する事
- (2) 施設・設備に関する事
- (3) 県立高等学校活性化推進に資する事
- (4) その他検討を要する事

### (組 織)

第3条 協議会は、学識経験者、有識者、小中学校PTA関係者、高等学校PTA関係者、関係市教育委員会教育長、小中学校長代表、県立学校長代表、教員代表等で組織する。

- 2 協議会に、会長、副会長を置く。
- 3 会長及び副会長は、委員の中から互選により決める。
- 4 会長は会務を総理し、副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は職務を代行する。
- 5 協議会は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

### (調査委員会)

第4条 協議会のもとに、必要に応じて調査委員会を設置する。

- 2 調査委員会は、テーマに応じて会長の指名する関係者で構成する。

### (会 議)

第5条 協議会は、会長が招集し、会長が議事運営する。

- 2 協議会の庶務は県教育委員会事務局において処理する。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関する事項は会長が定める。

附 則

この要綱は平成17年7月21日から施行する。

附 則

この要綱は平成19年5月18日から施行する。

附 則

この要綱は平成19年10月2日から施行する。

附 則

この要綱は平成23年1月17日から施行する。

附 則

この要綱は平成23年8月29日から施行する。

附 則

この要綱は平成24年7月10日から施行する。

附 則

この要綱は平成29年9月4日から施行する。

## 令和 5 年度第 3 回伊賀地域高等学校活性化推進協議会の概要

- 1 日時 令和 6 年 2 月 2 6 日（月） 1 9 時 0 0 分から 2 1 時 0 0 分まで
- 2 場所 三重県伊賀庁舎 大会議室
- 3 概要

「令和元・2 年度の協議のまとめ」や令和 3 年度以降の協議をふまえ、令和 1 0 年度ごろまでに見込まれる段階的な学級減への対応の方向性について検討し、「令和 5 年度伊賀地域協議会のまとめ」の策定に向けた協議を行いました。また、地域の中学生とその保護者を対象としたアンケートの内容や実施方法等について検討しました。

主な意見は次のとおりです。

## 《令和 5 年度伊賀地域協議会のまとめについて》

- 少子化が避けられない現実を受け止め、これからの子どもたちに学びの選択肢やその質をできる限り保障していくために、どうすべきかを考える必要がある。
- 当面は 5 校を維持するとのことだが、各学校が小規模化することで、かえって魅力が低下しないかを心配している。このことについては、前回の協議会で高校現場からの意見にもあったように、少なくとも 1 学年で 6 学級規模を維持していくことが必要ではないか。
- 多様な選択肢の維持は大切だが、普通科も一定規模を維持しないと学びの質に影響を与えるおそれがある。学びのあり方の議論から配置のあり方の議論へと早く舵を切らないと機を逸してしまう。
- 普通科は一定規模を維持するために統合し、専門学科は各学科・コースの人数を減らしてでも選択肢を維持することを基本として、早期に再編の方向性を示さないと、他地域への進学者がさらに増加することとなる。また、子どもたちや保護者が進路について考える時間を十分確保するためにも、3 年前と言わず少しでも早く結論を出すべきである。
- 現在の 5 校を残してほしいという思いもあったが、これから先、学級減のみで対応することは難しいので、今回のまとめの内容は妥当である。子どもたちが犠牲になる前にさまざまな手立てが必要だと感じるが、当協議会だけで少子化の流れを食い止めることはできないので、人口減少や地域活性化に関わる行政の取組も必要である。
- 少子化の中、学びの質と多様な選択肢の維持を両立することは難しい。個別の学校の維持や統合ではなく、伊賀地域全体の再編を大胆な発想で考える必要がある。
- 近大高専や英心高校桔梗が丘校など、県立高校以外の選択肢が増えたことも勘案して、高校の配置を考える必要がある。
- 学校規模が小さくなり教員数が減ったとしても、ICT を活用するなど、学びの質を低下させない工夫も大切である。

- 伊賀地域では、専門学科をめざす生徒はそれほど減っていないが、普通科をめざす生徒が減少しているように感じる。大学との連携を深めるなどしながら、普通科の魅力を高めてもらいたい。
- 伊賀地域の子どもたちにも普通科のニーズはあるが、交通の利便性から一定数の生徒が他地域の普通科へ進学している。当地域の普通科の魅力化に一層取り組むとともに、今後も続く段階的な生徒減への対応については、通学状況をふまえたより広いエリアで考えていく必要がある。
- 中学校3年生の進路希望調査は子どもたちのニーズを表しており、希望者が少なければ学級減となるのは当然ではないか。
- 他地域の高校や県外の大学へ進学した生徒は、なかなか地元に戻ってこない現状があるが、地域の事業者として、より選ばれる企業となるべく、魅力ある職場づくりや待遇の改善、地域貢献などさまざまな取組を行っている。
- 小学校6年生と中学生を対象とした、伊賀市PTA連合会主催の伊賀地域の高校を紹介する進学フェスタには、多くの子どもたちの参加があった。このような機会を増やしたり参加対象者を広げたりすることで、伊賀地域の高校を選んでもらえるようにしていきたい。
- あけぼの学園高校が学級減となった場合、名張方面からの通学バスの利用者が減り、これまでどおりの運行ができなくなることを心配している。
- 高校の再編を考えるにあたっては、通学方法や通学費用についての視点が大切であり、今回のまとめにもそのことを記載すべきである。
- 前活性化計画では、小規模校は学校ごとに活性化協議会を設置して活性化に取り組むとされた。また、現行計画では、地域ごとに活性化協議会を設置して協議することとされている。しかし、これから先の中学校卒業生数の減少を見据えると、今後は地域を越えて県全体で議論する必要があるのではないか。

#### 《アンケートの質問内容や実施方法について》

- 保護者アンケートについては、学校規模の大小によるメリットやデメリットなどを把握したうえで回答できるよう配慮してほしい。また、他地域の県立高校や私立高校を希望する生徒や保護者も多いので、その理由を尋ねるなどしてはどうか。
- 日本語を母語としない生徒や保護者が回答しやすいよう、ふりがなを振るなどできる限りの配慮をお願いしたい。
- 15年先を見据えて高校の学びと配置のあり方を考えるのであれば、中学校2年生の保護者だけではなく、より幅広い学年の保護者を対象としてアンケートを行ってもよいのではないか。

伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（5カ年比較）

資料2

区分		進路先	令和2年3月卒		令和3年3月卒		令和4年3月卒		令和5年3月卒		令和6年3月卒		
			人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
全日制	県内県立	伊賀地域	上野	264	19.2	260	18.8	269	19.3	238	17.5	234	17.3
			伊賀白鳳	252	18.3	229	16.6	230	16.5	230	16.9	230	17.0
			あけぼの学園	67	4.9	67	4.8	68	4.9	61	4.5	66	4.9
			名張	145	10.5	171	12.4	189	13.6	169	12.4	184	13.6
			名張青峰	250	18.2	222	16.1	226	16.2	224	16.4	217	16.1
			小計	978	<b>71.0</b>	949	<b>68.6</b>	982	<b>70.5</b>	922	<b>67.7</b>	931	<b>69.0</b>
	他地域	津	48	3.5	40	2.9	28	2.0	37	2.7	35	2.6	
		津西	27	2.0	30	2.2	26	1.9	26	1.9	28	2.1	
		上記以外 ※1	74	5.4	61	4.4	50	3.6	52	3.8	48	3.6	
		小計	149	<b>10.8</b>	131	<b>9.5</b>	104	<b>7.5</b>	115	<b>8.4</b>	111	<b>8.2</b>	
	県内私立	鈴鹿	1	0.1	4	0.3	5	0.4	11	0.8	11	0.8	
		高田	5	0.4	9	0.7	8	0.6	11	0.8	11	0.8	
		三重	17	1.2	19	1.4	18	1.3	16	1.2	11	0.8	
		桜丘	5	0.4	7	0.5	10	0.7	1	0.1	3	0.2	
		上記以外 ※2	9	0.7	10	0.7	7	0.5	7	0.5	11	0.8	
		小計	37	<b>2.7</b>	49	<b>3.5</b>	48	<b>3.4</b>	46	<b>3.4</b>	47	<b>3.5</b>	
	県外	国公立	10	0.7	8	0.6	8	0.6	6	0.4	8	0.6	
		私立	51	3.7	62	4.5	59	4.2	54	4.0	58	4.3	
		小計	61	<b>4.4</b>	70	<b>5.1</b>	67	<b>4.8</b>	60	<b>4.4</b>	66	<b>4.9</b>	
	定時制	上野	5	0.4	10	0.7	13	0.9	8	0.6	13	1.0	
名張		10	0.7	11	0.8	13	0.9	12	0.9	10	0.7		
上記以外の県内		1	0.1	2	0.1	0	0.0	0	0.0	1	0.1		
山辺高校山添分校		7	0.5	16	1.2	3	0.2	8	0.6	7	0.5		
上記以外の県外		2	0.1	1	0.1	2	0.1	0	0.0	0	0.0		
小計		25	<b>1.8</b>	40	<b>2.9</b>	31	<b>2.2</b>	28	<b>2.1</b>	31	<b>2.3</b>		
通信制	県立（北星・松阪）	2	0.1	2	0.1	3	0.2	3	0.2	3	0.2		
	英心桔梗が丘校					24	1.7	57	4.2	44	3.3		
	英心伊勢本校	20	1.5	5	0.4	11	0.8	6	0.4	12	0.9		
	徳風	6	0.4	13	0.9	5	0.4	2	0.1	3	0.2		
	上記以外の県内	2	0.1	2	0.1	2	0.1	1	0.1	2	0.1		
	県外	24	1.7	45	3.3	27	1.9	29	2.1	38	2.8		
小計	54	<b>3.9</b>	67	<b>4.8</b>	72	<b>5.2</b>	98	<b>7.2</b>	102	<b>7.6</b>			
高等専門学校	鈴鹿高専	6	0.4	10	0.7	9	0.6	3	0.2	1	0.1		
	鳥羽商船	2	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	近大高専	34	2.5	32	2.3	57	4.1	53	3.9	31	2.3		
	県外	4	0.3	2	0.1	2	0.1	5	0.4	2	0.1		
	小計	46	<b>3.3</b>	44	<b>3.2</b>	68	<b>4.9</b>	61	<b>4.5</b>	34	<b>2.5</b>		
特別支援学校	伊賀つばさ学園	5	0.4	12	0.9	4	0.3	9	0.7	7	0.5		
	上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	1	0.1	1	0.1	0	0.0		
	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
	小計	5	<b>0.4</b>	12	<b>0.9</b>	5	<b>0.4</b>	10	<b>0.7</b>	7	<b>0.5</b>		
その他	専修・各種・職訓	7	0.5	4	0.3	1	0.1	3	0.2	2	0.1		
	就職	5	0.4	6	0.4	2	0.1	6	0.4	3	0.2		
	上記以外 ※3	10	0.7	11	0.8	13	0.9	13	1.0	16	1.2		
	小計	22	<b>1.6</b>	21	<b>1.5</b>	16	<b>1.1</b>	22	<b>1.6</b>	21	<b>1.6</b>		
公立中学校卒業生数			<b>1,377</b>	100.0	<b>1,383</b>	100.0	<b>1,393</b>	100.0	<b>1,362</b>	100.0	<b>1,350</b>	100.0	

令和6年3月卒業生

- ※1 津工業10、津東8、亀山6、白山5、津商業4、昴学園3、久居農林2、松阪商業2  
四日市南1、飯野1、稲生1、松阪1、松阪工業1、明野1、宇治山田商業1、水産1 の計48人
- ※2 海星5、津田学園2、皇學館2、メリノール1、セントヨゼフ1 の計11人
- ※3 進学待機、求職中など

伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（令和6年3月卒）

資料3①

区分	進路先	伊賀北部		伊賀南部		伊賀地域合計	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
伊賀地域 県立 全日制	上野	154	23.5	80	11.5	234	17.3
	伊賀白鳳	198	30.2	32	4.6	230	17.0
	あけぼの学園	45	6.9	21	3.0	66	4.9
	名張	42	6.4	142	20.5	184	13.6
	名張青峰	54	8.2	163	23.5	217	16.1
	小計	493	<b>75.2</b>	438	<b>63.1</b>	931	<b>69.0</b>
他地域 県立 全日制	津	4	0.6	31	4.5	35	2.6
	津西	7	1.1	21	3.0	28	2.1
	上記以外	17	2.6	31	4.5	48	3.6
	小計	28	<b>4.3</b>	83	<b>12.0</b>	111	<b>8.2</b>
県内 私立 全日制	鈴鹿	9	1.4	2	0.3	11	0.8
	高田	10	1.5	1	0.1	11	0.8
	三重	3	0.5	8	1.2	11	0.8
	桜丘	2	0.3	1	0.1	3	0.2
	上記以外	3	0.5	8	1.2	11	0.8
	小計	27	<b>4.1</b>	20	<b>2.9</b>	47	<b>3.5</b>
県外 全日制	国公立	4	0.6	4	0.6	8	0.6
	私立	25	3.8	33	4.8	58	4.3
	小計	29	<b>4.4</b>	37	<b>5.3</b>	66	<b>4.9</b>
定時制	上野	13	2.0	0	0.0	13	1.0
	名張	0	0.0	10	1.4	10	0.7
	上記以外の県内	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	山辺高校山添分校	4	0.6	3	0.4	7	0.5
	上記以外の県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	17	<b>2.6</b>	14	<b>2.0</b>	31	<b>2.3</b>
通信制	県立（北星・松阪）	2	0.3	1	0.1	3	0.2
	英心桔梗が丘校	14	2.1	30	4.3	44	3.3
	英心伊勢本校	3	0.5	9	1.3	12	0.9
	徳風	3	0.5	0	0.0	3	0.2
	上記以外の県内	1	0.2	1	0.1	2	0.1
	県外	8	1.2	30	4.3	38	2.8
	小計	31	<b>4.7</b>	71	<b>10.2</b>	102	<b>7.6</b>
高等専門 学校	鈴鹿高専	1	0.2	0	0.0	1	0.1
	鳥羽商船	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	近大高専	16	2.4	15	2.2	31	2.3
	県外	0	0.0	2	0.3	2	0.1
	小計	17	<b>2.6</b>	17	<b>2.4</b>	34	<b>2.5</b>
特別支援 学校	伊賀つばさ学園	3	0.5	4	0.6	7	0.5
	上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	3	<b>0.5</b>	4	<b>0.6</b>	7	<b>0.5</b>
その他	専修・各種・職訓	1	0.2	1	0.1	2	0.1
	就職	0	0.0	3	0.4	3	0.2
	上記以外	10	1.5	6	0.9	16	1.2
	小計	11	<b>1.7</b>	10	<b>1.4</b>	21	<b>1.6</b>
公立中学校卒業生数		<b>656</b>	100.0	<b>694</b>	100.0	<b>1,350</b>	100.0

※ 伊賀北部＝伊賀市から旧青山町を除く。

※ 伊賀南部＝名張市に旧青山町を加える。



伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況（令和5年3月卒）

資料3②

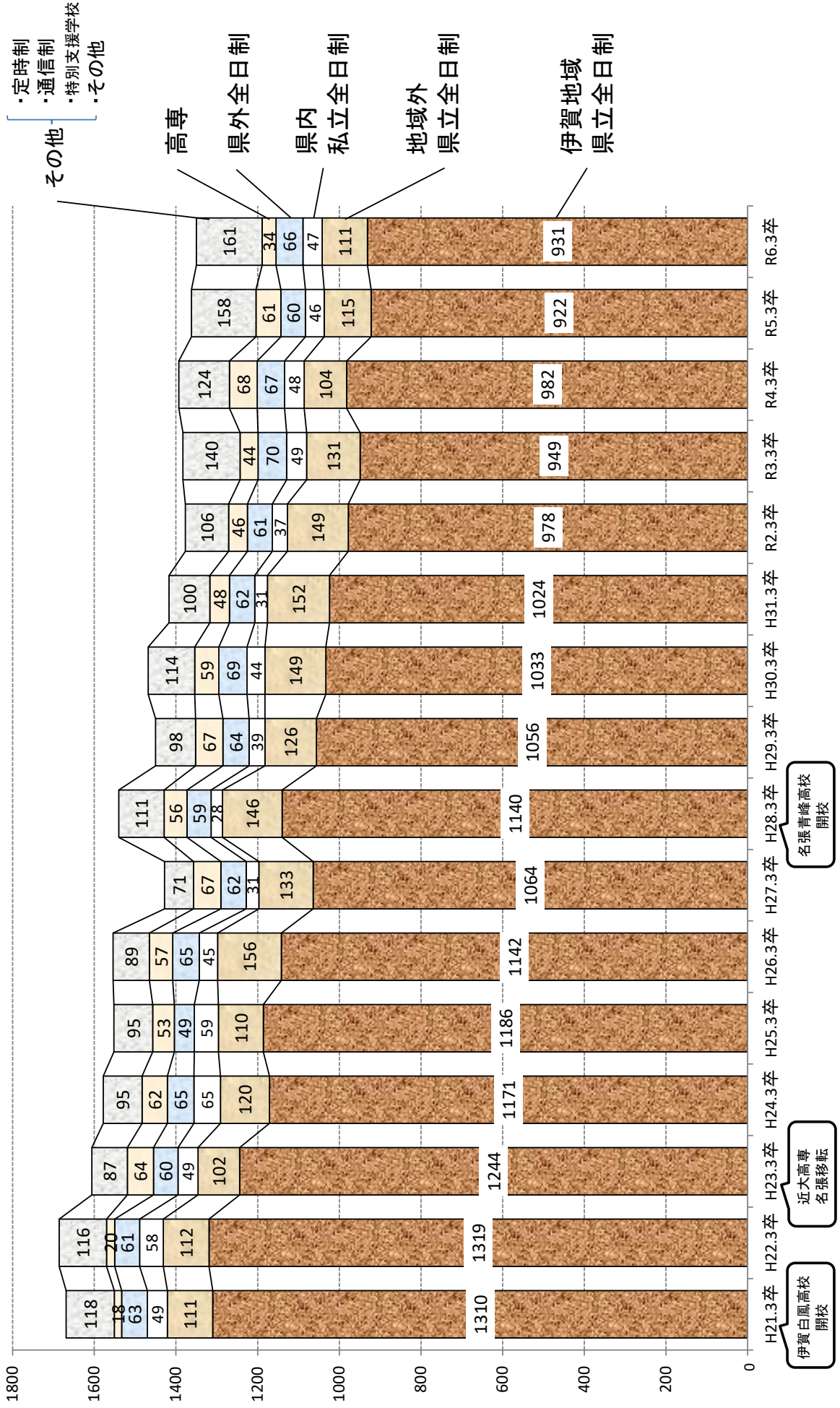
区分	進路先	伊賀北部		伊賀南部		伊賀地域合計	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
伊賀地域 県立 全日制	上野	161	24.4	77	11.0	238	17.5
	伊賀白鳳	194	29.4	36	5.1	230	16.9
	あけぼの学園	38	5.8	23	3.3	61	4.5
	名張	39	5.9	130	18.5	169	12.4
	名張青峰	64	9.7	160	22.8	224	16.4
	小計	496	<b>75.3</b>	426	<b>60.6</b>	922	<b>67.7</b>
他地域 県立 全日制	津	8	1.2	29	4.1	37	2.7
	津西	3	0.5	23	3.3	26	1.9
	上記以外	24	3.6	28	4.0	52	3.8
	小計	35	<b>5.3</b>	80	<b>11.4</b>	115	<b>8.4</b>
県内 私立 全日制	鈴鹿	10	1.5	1	0.1	11	0.8
	高田	6	0.9	5	0.7	11	0.8
	三重	4	0.6	12	1.7	16	1.2
	桜丘	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	上記以外	5	0.8	2	0.3	7	0.5
	小計	25	<b>3.8</b>	21	<b>3.0</b>	46	<b>3.4</b>
県外 全日制	国公立	4	0.6	2	0.3	6	0.4
	私立	26	3.9	28	4.0	54	4.0
	小計	30	<b>4.6</b>	30	<b>4.3</b>	60	<b>4.4</b>
定時制	上野	7	1.1	1	0.1	8	0.6
	名張	0	0.0	12	1.7	12	0.9
	上記以外の県内	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	山辺高校山添分校	2	0.3	6	0.9	8	0.6
	上記以外の県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	9	<b>1.4</b>	19	<b>2.7</b>	28	<b>2.1</b>
通信制	県立（北星・松阪）	2	0.3	1	0.1	3	0.2
	英心桔梗が丘校	10	1.5	47	6.7	57	4.2
	英心伊勢本校	0	0.0	6	0.9	6	0.4
	徳風	2	0.3	0	0.0	2	0.1
	上記以外の県内	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	県外	8	1.2	21	3.0	29	2.1
	小計	22	<b>3.3</b>	76	<b>10.8</b>	98	<b>7.2</b>
高等専門 学校	鈴鹿高専	3	0.5	0	0.0	3	0.2
	鳥羽商船	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	近大高専	21	3.2	32	4.6	53	3.9
	県外	2	0.3	3	0.4	5	0.4
	小計	26	<b>3.9</b>	35	<b>5.0</b>	61	<b>4.5</b>
特別支援 学校	伊賀つばさ学園	4	0.6	5	0.7	9	0.7
	上記以外の県内	1	0.2	0	0.0	1	0.1
	県外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	5	<b>0.8</b>	5	<b>0.7</b>	10	<b>0.7</b>
その他	専修・各種・職訓	3	0.5	0	0.0	3	0.2
	就職	4	0.6	2	0.3	6	0.4
	上記以外	4	0.6	9	1.3	13	1.0
	小計	11	<b>1.7</b>	11	<b>1.6</b>	22	<b>1.6</b>
公立中学校卒業生数		<b>659</b>	100.0	<b>703</b>	100.0	<b>1,362</b>	100.0

※ 伊賀北部＝伊賀市から旧青山町を除く。

※ 伊賀南部＝名張市に旧青山町を加える。

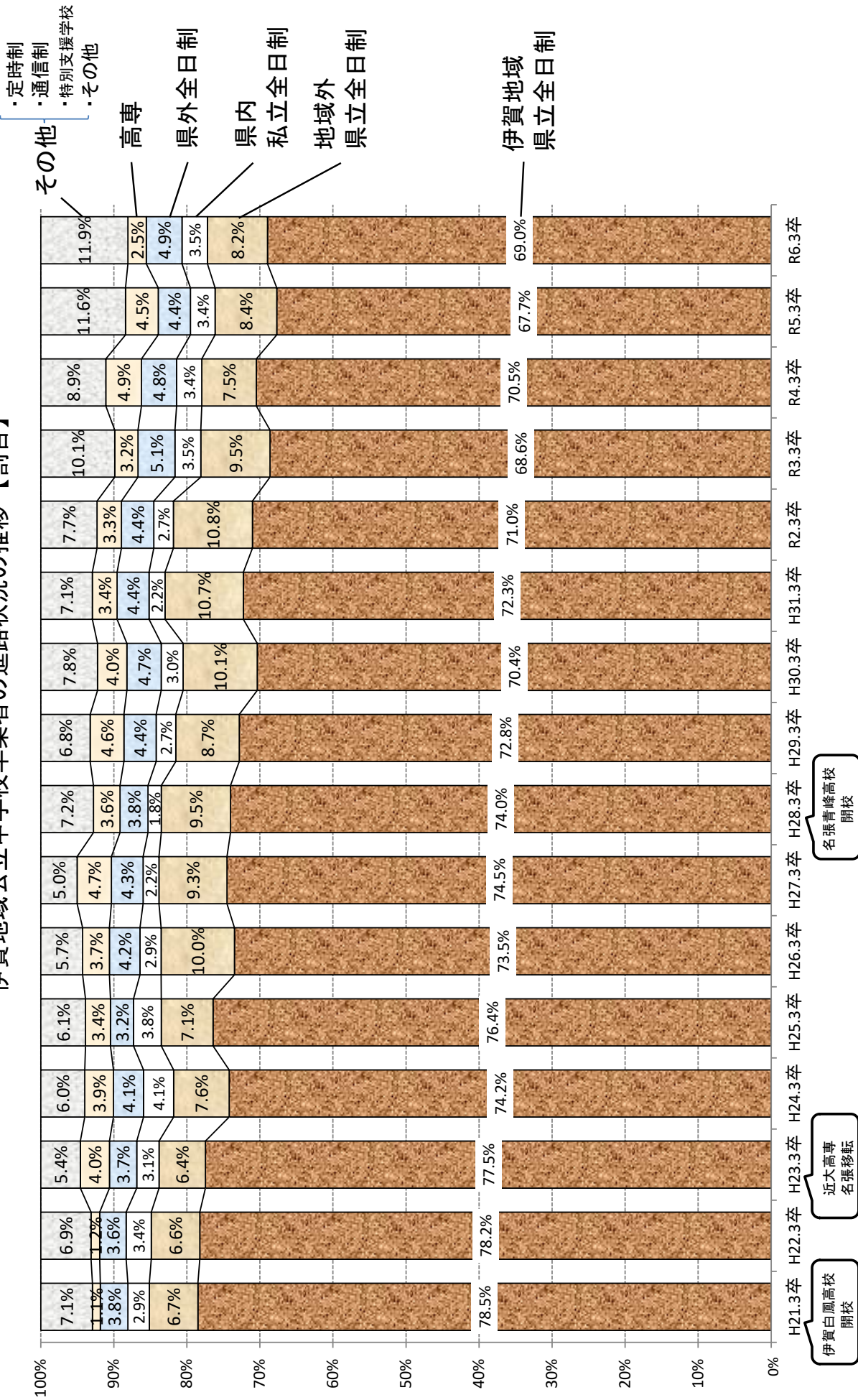
資料4①

伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況の推移【人数】



資料4②

伊賀地域公立中学校卒業者の進路状況の推移【割合】



伊賀地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況（令和6年度）

資料5①

高校名	学科・コース名	入学定員	R5.12 希望者数	前期選抜等			後期選抜				再募集			合格者 総数	入学者数	欠員
				募集人数	志願者数	合格 内定者数	募集人数	志願者数 (最終)	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数			
上野	普通	200	163				200	163	0.82	196	4	3	2	201		
	理数	40	76	20	74	20	20	56	2.80	20				40		
	計	240	239	20	74	20	220	219	1.00	216	4	3	2	241	241	
あけぼの学園	総合学科	80	74	40	73	44	36	45	1.25	36				80	80	
伊賀白鳳	機械	35	35	18	33	20										
	電子機械	35	31	18	33	20										
	建築デザイン	35	40	18	40	20										
	生物資源	35	21	18	21	18	106	109	1.03	106				241	241	
	フードシステム	35	43	18	44	20										
	経営	30	39	15	40	17										
	ヒューマンサービス	35	26	18	28	19										
計	240	235	123	239	134	106	109	1.03	106				241	241		
名張	総合学科	200	217	100	225	108	92	102	1.11	92				200	200	
名張青峰	普通	200	180	60	176	66	134	119	0.89	118	16	6	6	191	191	▲ 9
	文理探究コース	40	34	20	34	22	18	15	0.83	15	3	3	3	40	40	
	計	240	214	80	210	88	152	134	0.88	133	19	9	9	231	231	▲ 9
伊賀地域計		1,000	979	367	821	394	606	609	1.00	583	23	12	11	993	993	▲ 9

※「R5.12希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された進路希望状況調査による

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは、追検査による合格者等を含むため

※あけぼの学園の上段は前期選抜、下段は特別選抜

伊賀地域の県立高等学校（全日制）の入学者選抜の状況（令和5年度）

資料5②

高校名	学科・コース名	入学定員	R4.12 希望者数	前期選抜等			後期選抜				再募集			合格者 総数	入学者数	欠員
				募集人数	志願者数	合格 内定者数	募集人数	志願者数 (最終)	志願倍率	合格者数	募集定員	志願者数	合格者数			
上野	普通	200	167	/	/	/	200	176	0.88	200				200	200	
	理数	40	78	20	73	20	20	48	2.40	20				40	40	
	計	240	245	20	73	20	220	224	1.02	220				240	240	
あけぼの学園	総合学科	80	55	40	55	44	36	21	0.58	21	15	5	5	70	70	▲ 10
	機械	35	43	18	39	20										
伊賀白鳳	電子機械	35	20	18	21	18										
	建築デザイン	35	39	18	37	20										
	生物資源	35	32	18	32	20	105	110	1.05	105				240	240	
	フードシステム	35	43	18	43	20										
	経営	30	27	15	26	17										
	ヒューマンサービス	35	37	18	38	20										
	計	240	241	123	236	135	105	110	1.05	105				240	240	
名張	総合学科	200	179	100	184	108	92	78	0.85	78	14	3	3	189	188	▲ 12
	普通	200	180	60	176	66	134	113	0.84	133	1	0	0	201	201	
名張青峰	文理探究コース	40	46	20	45	22	18	40	2.22	18				40	40	
	計	240	226	80	221	88	152	153	1.01	151	1	0	0	241	241	
伊賀地域計		1,000	946	367	769	395	605	586	0.97	575	30	8	8	980	979	▲ 22

※「R4.12希望者数」は、県内の国公立中学校3年生を対象に実施された進路希望状況調査による

※入学者数と合格者数の合計が一致しないことがあるのは、追検査による合格者等を含むため

※あけぼの学園の上段は前期選抜、下段は特別選抜

各高等学校の入学者の出身中学校と卒業者の進路状況（令和6年）

			上野	あけぼの 学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰
設置学科等 (R6募集定員)			普通(200) 理数(40)	総合(80)	工業(105) 農業(70) 商業(30) 福祉(35)	総合(200)	普通(200) 文理探究(40)
R6.4 入学生の出 身中学校	伊賀北部 の中学校	人	154	45	198	42	54
		%	63.9%	56.3%	82.2%	21.0%	23.4%
	伊賀南部 の中学校	人	80	20	32	142	163
		%	33.2%	25.0%	13.3%	71.0%	70.6%
	上記以外の 県内中学校	人	4	15	7	10	10
		%	1.7%	18.8%	2.9%	5.0%	4.3%
県外の中学校 (奈良県等)	人	3	0	4	6	4	
	%	1.2%	0.0%	1.7%	3.0%	1.7%	
入学者数計		人	241	80	241	200	231
R6.3 卒業生の 進路状況	4年制大学 (大学校含む)	人	241	2	26	48	170
		%	90.9%	2.8%	11.8%	24.6%	72.6%
	短期大学 (高専含む)	人	3	1	16	24	13
		%	1.1%	1.4%	7.2%	12.3%	5.6%
	専修・各種学校 等	人	9	12	46	72	39
		%	3.4%	16.7%	20.8%	36.9%	16.7%
	就職	人	4	49	132	42	5
%		1.5%	68.1%	59.7%	21.5%	2.1%	
その他 (進学待機を含む)	人	8	8	1	9	7	
	%	3.0%	11.1%	0.5%	4.6%	3.0%	
卒業生数計		人	265	72	221	195	234

※ 「伊賀北部の中学校」は伊賀市の中学校から青山中学校を除き、「伊賀南部の中学校」は名張市の中学校に青山中学校を加える。  
 ※ 「%」は、各高校の「入学者数計」または、「卒業生数計」に対する割合を表す。

## 各高等学校の入学者の出身中学校と卒業者の進路状況（令和5年）

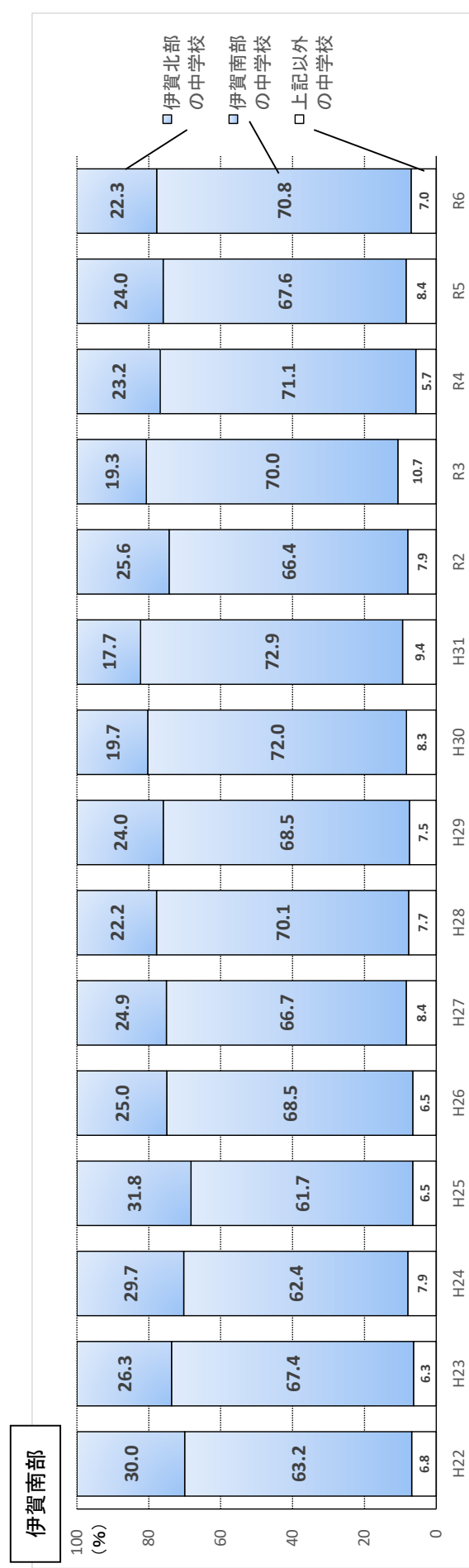
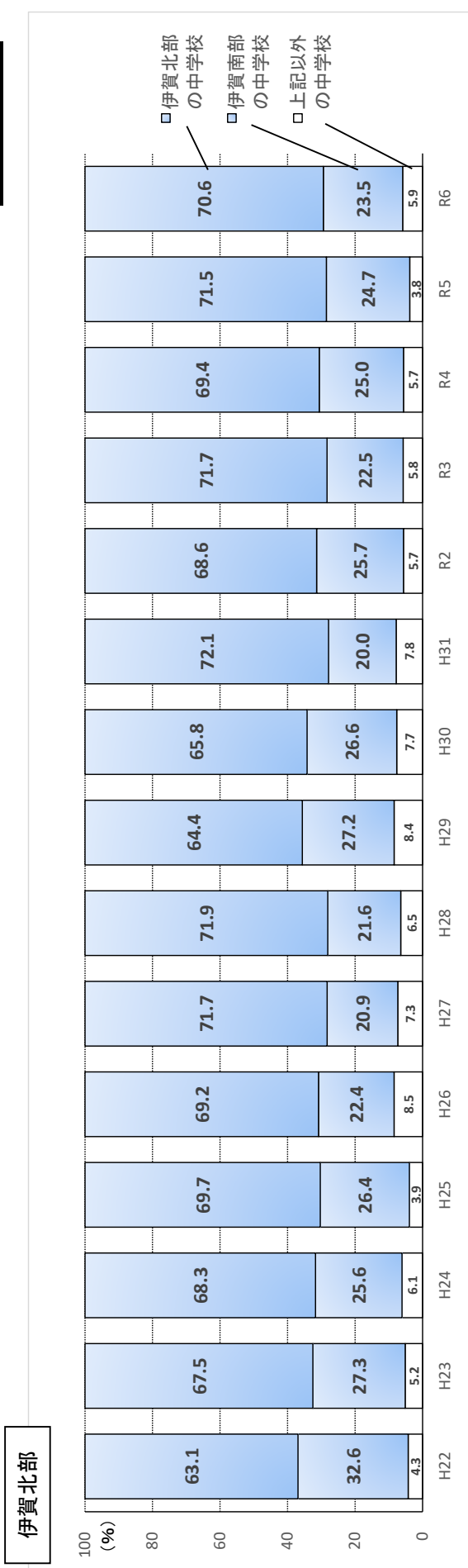
			上野	あけぼの 学園	伊賀白鳳	名張	名張青峰
設置学科等 (R5募集定員)			普通(200) 理数(40)	総合(80)	工業(105) 農業(70) 商業(30) 福祉(35)	総合(200)	普通(200) 文理探究(40)
R5.4 入学生の出 身中学校	伊賀北部 の中学校	人	161	38	194	39	64
		%	67.1%	54.3%	80.8%	20.7%	26.6%
	伊賀南部 の中学校	人	77	23	36	130	160
		%	32.1%	32.9%	15.0%	69.1%	66.4%
	上記以外の 県内中学校	人	1	9	8	15	12
		%	0.4%	12.9%	3.3%	8.0%	5.0%
県外の中学校 (奈良県等)	人	1	0	2	4	5	
	%	0.4%	0.0%	0.8%	2.1%	2.1%	
入学者数計		人	240	70	240	188	241
R5.3 卒業生の 進路状況	4年制大学 (大学校含む)	人	238	2	33	29	150
		%	90.2%	3.1%	13.2%	19.0%	58.8%
	短期大学 (高専含む)	人	4	1	19	14	17
		%	1.5%	1.6%	7.6%	9.2%	6.7%
	専修・各種学校 等	人	7	7	46	58	67
		%	2.7%	10.9%	18.4%	37.9%	26.3%
	就職	人	2	47	148	47	8
%		0.8%	73.4%	59.2%	30.7%	3.1%	
その他 (進学待機を含む)	人	13	7	4	5	13	
	%	4.9%	10.9%	1.6%	3.3%	5.1%	
卒業生数計		人	264	64	250	153	255

※ 「伊賀北部の中学校」は伊賀市の中学校から青山中学校を除き、「伊賀南部の中学校」は名張市の中学校に青山中学校を加える。

※ 「%」は、各高校の「入学者数計」または、「卒業生数計」に対する割合を表す。

# 伊賀地域の県立高等学校への入学状況の推移【北部・南部】

資料 7





## 令和 6 年度の協議について

### 1 これまでの協議

※詳細は「令和 5 年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ」を参照

- 「令和元・2 年度の協議のまとめ（令和 3 年 3 月）」においては、当面の間、現在の 5 校を維持することが望ましいとしたうえで、今後中学校卒業生数がさらに減少することから、現在の 5 校の再編を含めて検討し、その結果を令和 7 年度頃までに明らかにする必要があるとしました。  
また、多様な学習ニーズにこたえる新しいタイプの学校の設置に関しては、どのようなニーズがあるかを的確にとらえるとともに、昼間定時制課程の併置を含めた定時制課程のあり方や、通信制課程の機能を取り入れた学習形態について検討する必要があるとしました。
- 令和 4 年度以降の協議会では、令和 4 年 3 月に策定した「県立高等学校活性化計画」に基づき、15 年先の当地域の中学校卒業生数の減少の状況もふまえ、伊賀地域の県立学校における学びと配置について協議を進めているところです。
- 「令和 5 年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ（令和 6 年 2 月）」（以下「令和 5 年度のまとめ」という。）においては、令和 7～8 年度に想定される学級減に対しては、検討の方向性に基づき 5 校の維持が望ましいとしたうえで、令和 10 年度以降の学級減に対しては、現在の 5 校の再編を含めて検討し、その結果を令和 7 年度までに、当協議会の考え方としてとりまとめることとしました。

### 2 令和 6 年度の協議の進め方

当協議会の「令和 5 年度のまとめ」や「県立高等学校活性化計画」に基づいて、15 年先を見据えながら、令和 10 年度以降の総学級数の段階的な減少に対する具体的な対応について協議を進めることとします。また、地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査を実施し、その結果もふまえ、検討を行います。

こうした検討は統合という結論ありきで協議するのではなく、地域の実情に応じ丁寧に進めます。

### 3 今後の協議会開催スケジュール（令和6～7年度）

#### 【令和6年度】

- (1) 第1回協議会（令和6年8月8日）
  - ・伊賀地域の高等学校を取り巻く状況について
  - ・伊賀地域の県立高等学校の今後のあり方について①
  - ・アンケートの内容と実施について
  
- (2) 第2回協議会（令和6年11月頃）
  - ・アンケートの結果について
  - ・伊賀地域の県立高等学校の今後のあり方について②
  
- (3) 第3回協議会（令和7年2月頃）
  - ・伊賀地域の県立高等学校の今後のあり方について③

#### 【令和7年度】

- (1) 第1回協議会（令和7年6～7月頃）
  - ・伊賀地域の高等学校を取り巻く状況について
  - ・伊賀地域の県立高等学校の今後のあり方について④
  
- (2) 第2回協議会（令和7年8～9月頃）
  - ・「令和7年度のまとめ（案）」の提示
  
- (3) 第3回協議会（令和7年11月頃）
  - ・「令和7年度のまとめ」策定

# 伊賀地域の中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)【市別】

資料9①

令和6年5月1日 教育政策課調べ

中学校卒業年月	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3	R 14.3	R 15.3
卒業生数	770	801	779	768	755	718	724	684	662	636	618	582	562
前年度対比		31	-22	-11	-13	-37	6	-40	-22	-26	-18	-36	-20
R6.3対比					-13	-50	-44	-84	-106	-132	-150	-186	-206
①公立小中在籍者数	(724)	(739)	(720)	(710)	691	668	680	681	658	631	612	576	559
②私立小中在籍者数	(46)	(62)	(59)	(58)	55	32	24						
卒業生数	659	654	642	640	682	640	640	637	610	581	564	574	514
前年度対比		-5	-12	-2	42	-42	0	-3	-27	-29	-17	10	-60
R6.3対比					42	0	0	-3	-30	-59	-76	-66	-126
③公立小中在籍者数					679	639	640	668	639	611	591	603	538
卒業生数	1,429	1,455	1,421	1,408	1,437	1,358	1,364	1,321	1,272	1,217	1,182	1,156	1,076
前年度対比		26	-34	-13	29	-79	6	-43	-49	-55	-35	-26	-80
R6.3対比					29	-50	-44	-87	-136	-191	-226	-252	-332
①②③小中在籍者数					1,425	1,339	1,344	1,349	1,297	1,242	1,203	1,179	1,097

伊賀地域県立高校の1学年学級数	27	27	26	26	26								
( ) 内は入学定員の計	(1,040)	(1,040)	(1,000)	(1,000)	(1,000)								

(参考)

卒業生数	R 3.3	R 4.3	R 5.3	R 6.3	R 7.3	R 8.3	R 9.3	R 10.3	R 11.3	R 12.3	R 13.3	R 14.3	R 15.3
前年度対比	15,777	16,244	16,055	15,891	15,712	15,488	15,241	14,769	14,404	14,000	14,049	13,442	12,792
R6.3対比		467	-189	-164	-179	-224	-247	-472	-365	-404	49	-607	-650
小中在籍者数					15,683	15,463	15,226	14,884	14,500	14,123	14,159	13,548	12,890

# 伊賀地域の中学校卒業生数の推移と予測(含社会増減)【北部・南部別】

## 資料9②

令和6年5月1日 教育政策課調べ

中学校卒業年月	R 3.3 卒業	R 4.3 卒業	R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 現中3	R 8.3 現中2	R 9.3 現中1	R 10.3 現小6	R 11.3 現小5	R 12.3 現小4	R 13.3 現小3	R 14.3 現小2	R 15.3 現小1
卒業生数	708	738	718	714	674	651	658	624	602	588	563	526	507
前年度対比		30	-20	-4	-40	-23	7	-34	-22	-14	-25	-37	-19
R6.3対比					-40	-63	-56	-90	-112	-126	-151	-188	-207
①公立小中在籍者数	(662)	(676)	(659)	(656)	611	603	615	617	596	580	555	520	501
②私立小中在籍者数	(46)	(62)	(59)	(58)	55	32	24						
卒業生数	721	717	703	694	762	706	706	698	670	631	619	629	569
前年度対比		-4	-14	-9	68	-56	0	-8	-28	-39	-12	10	-60
R6.3対比					68	12	12	4	-24	-63	-75	-65	-125
③公立小中在籍者数					759	704	705	732	701	662	648	659	596
卒業生数	1,429	1,455	1,421	1,408	1,436	1,357	1,364	1,322	1,272	1,219	1,182	1,155	1,076
前年度対比		26	-34	-13	28	-79	7	-42	-50	-53	-37	-27	-79
R6.3対比					28	-51	-44	-86	-136	-189	-226	-253	-332
①②③小中在籍者数					1,425	1,339	1,344	1,349	1,297	1,242	1,203	1,179	1,097

伊賀地域県立高校の1学年学級数	27	27	26	26	26								
( )内は入学定員の計	(1,040)	(1,040)	(1,000)	(1,000)	(1,000)								

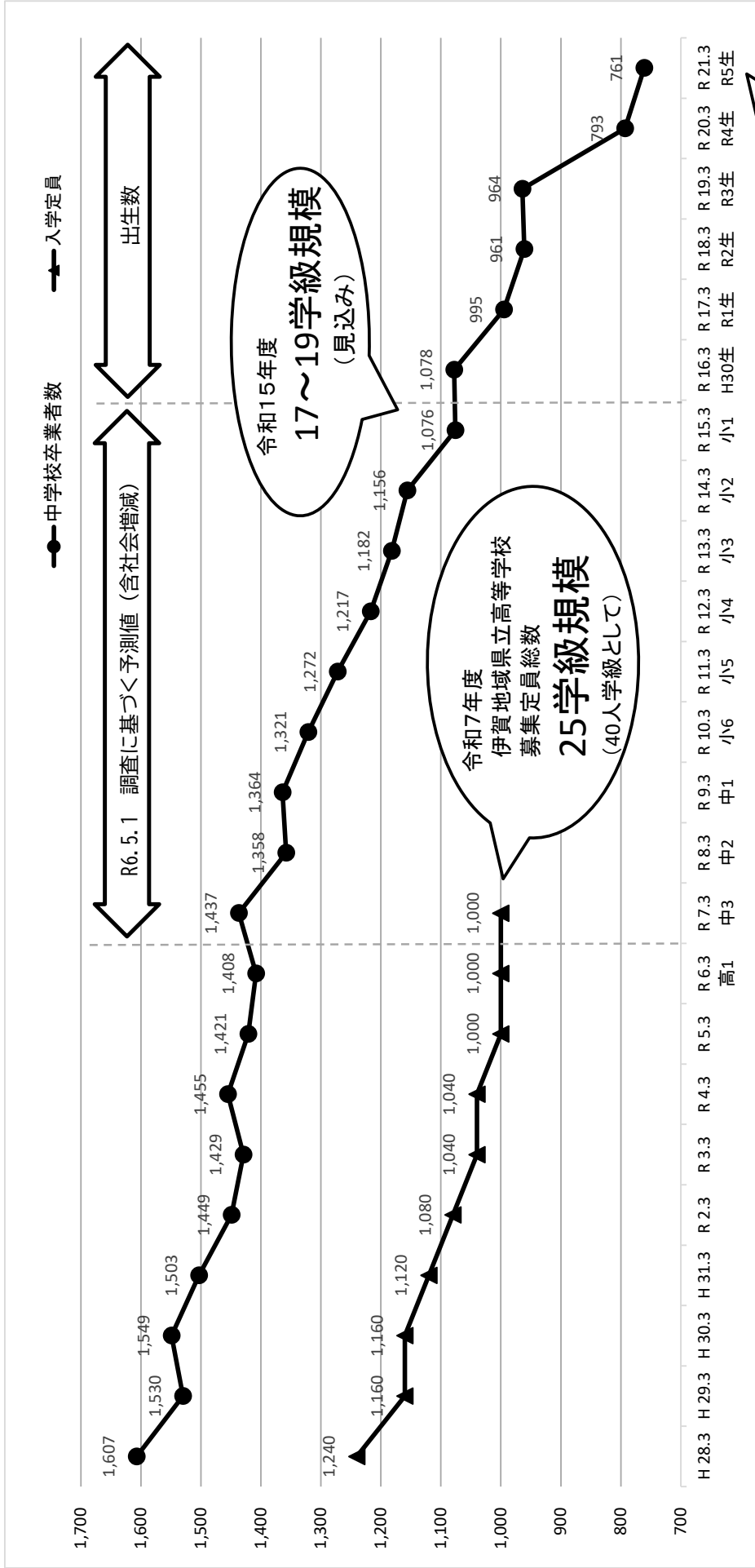
※ 伊賀北部=伊賀市から旧青山町を除く。

※ 伊賀南部=名張市に旧青山町を加える。

(参考)

	R 3.3 卒業	R 4.3 卒業	R 5.3 卒業	R 6.3 卒業	R 7.3 現中3	R 8.3 現中2	R 9.3 現中1	R 10.3 現小6	R 11.3 現小5	R 12.3 現小4	R 13.3 現小3	R 14.3 現小2	R 15.3 現小1
卒業生数	15,777	16,244	16,055	15,891	15,712	15,488	15,241	14,769	14,404	14,000	14,049	13,442	12,792
前年度対比		467	-189	-164	-179	-224	-247	-472	-365	-404	49	-607	-650
R6.3対比					-179	-403	-650	-1,122	-1,487	-1,891	-1,842	-2,449	-3,099
小中学校在籍者数					15,683	15,463	15,226	14,884	14,500	14,123	14,159	13,548	12,890

# 伊賀地域の中学校卒業生数と県立高等学校入学定員の推移



伊賀地域の出生数

	H29年度 現小1	H30年度 5~6歳	R元年度 4~5歳	R2年度 3~4歳	R3年度 2~3歳	R4年度 1~2歳	R5年度 0~1歳
伊賀市	582	569	533	534	527	434	419
名張市	522	509	462	427	437	359	342
計	1,104	1,078	995	961	964	793	761

令和21年度(15年後)  
11~13学級規模  
(見込み)

全日制高等学校の設置学科と学級数の推移（伊賀市）

資料 1 1 ①

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
上野	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	
	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	
	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	
	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	
	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	
	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通
	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通
あけぼの学園	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	
	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	
上野農業	食農科学	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	
	景観園芸	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	
	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	
	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械
	仕理師工学	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業
上野工業	情報ビジネス	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営
	健康生活	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン
	福祉	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合
	普通	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合
	普通	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合	総合
上野商業	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	生物資源	
	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	フード	
	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	機械	
	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械	電子機械
	仕理師工学	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業	工業
	情報ビジネス	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営	経営
	健康生活	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン	ヒューマン
【学級数】	9	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
普通科系	—	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
総合学科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
農業科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
工業科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
商業科	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
家庭科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
福祉科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

普通科改革による学科改編  
普通5 ⇒ 学際探究4  
理数1 → 理数2

現在の普通科系以外の  
学びのバリエーション  
4系列  
・美容服飾系列  
・製菓調理系列  
・情報教養系列  
・健康福祉系列

7学科11コース  
・生物資源科  
・フードサイエンスコース  
・パティシエコース  
・機械科  
・ロボットコース  
・電気工学科  
・建築・インテリアコース  
・デザインコース  
・経営科  
・介護福祉コース  
・生活福祉コース

【R3～】  
35人・30人学級を導入

【R4～】 ▲2コース  
7学科13コース ⇒ 7学科11コース

35人×2学級  
35人×3学級  
30人×1学級  
35人×1学級

全日制高等学校の設置学科と学級数の推移（名張市）

現在の普通科系以外の  
学びのバリエーション

4系列9専攻

- 文理アドバンス系列
  - ・人文専攻
  - ・看護医療専攻
- 総合ビジネス系列
  - ・ビジネス専攻
  - ・情報処理専攻
- 健康スポーツ系列
  - ・健康スポーツ専攻
- 表現デザイン系列
  - ・美術専攻
  - ・音楽専攻
  - ・ファッション専攻
  - ・映像専攻

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
名張	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合	総合 総合 総合 総合 総合
名張桔梗丘	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	
名張西	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	普通 普通 普通 普通 普通 普通 情報 英語	
【学級数】	普通科 英語科 文理探究 総合学科 工業	11 1 — 5 1	11 1 — 5 1	10 1 — 5 1	9 1 — 5 1	9 1 — 5 1	8 1 — 5 1	6 1 — 5 1	7 — 1 5 —	7 — 1 5 —	7 — 1 5 —	7 — 1 5 —	6 — 1 4 —	5 — 1 5 —	5 — 1 5 —	5 — 1 5 —	5 — 1 5 —	5 — 1 5 —	

【6系列】  
人文学  
科学  
入ホーツ  
商業  
生活  
芸術  
デザイン  
実行  
行  
行

【4系列】  
文理アドバンス  
総合ビジネス  
健康スポーツ  
表現デザイン

2校を統合して  
名張青峰高校開校

# 伊賀地域の高等学校等の学科・コースについて(令和7年度)

資料12

学校名	大学科	募集定員 (R7)	1	2	3	4	5	6	
県立 上野高校	普通科	240	学際探究科	学際探究科	学際探究科	学際探究科	理数科	理数科	
県立 あげぼの学園高校	総合学科	80	製菓調理 美容服飾 情報教養 健康福祉			4 系列/80人			
県立 伊賀白鳳高校	専門学科	240	機械科(35) ・機械科	電子機械科(35) ・ロボット ・電気工学	建築デザイン科(35) ・建築・インテリア ・デザイン	生物資源科(35) ・生物資源科	フードシステム科(35) ・フードサイエンス ・ハチイ	経営科(30) ・経営科	
県立 名張高校	総合学科	200	文理アドバンス系列 ・人文専攻 ・看護医療専攻			表現デザイン系列 ・美術専攻 ・音楽専攻 ・ファッション専攻 ・映像専攻			
県立 名張青峰高校	普通科	240	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	
私立 桜丘高校	普通科	155	普通科(155)						普通科系/480人 【文理探究コース】

伊賀地域 全日課程

- 全日制
  - ※ 私立 愛農学園農業高校 25人 農業科
- 定時制課程
  - 県立 上野高校 40人 普通科
  - 県立 名張高校 40人 普通科
- 通信制課程
  - 私立 英心高校 桔梗が丘 60人 普通科:探究コース
  - ※ 私立 神村学園高等部伊賀 50人 普通科:選択登校型、全日型 (両型合わせた年間募集定員)
- 高等専門学校
  - 私立 近畿大学工業高等専門学校 160人 機械システム、電気電子、制御情報、都市環境 (3年次よりコース選択)

(※県外扱い)



# 伊賀地域の専門学科と総合学科の学び

## 専門学科の学び

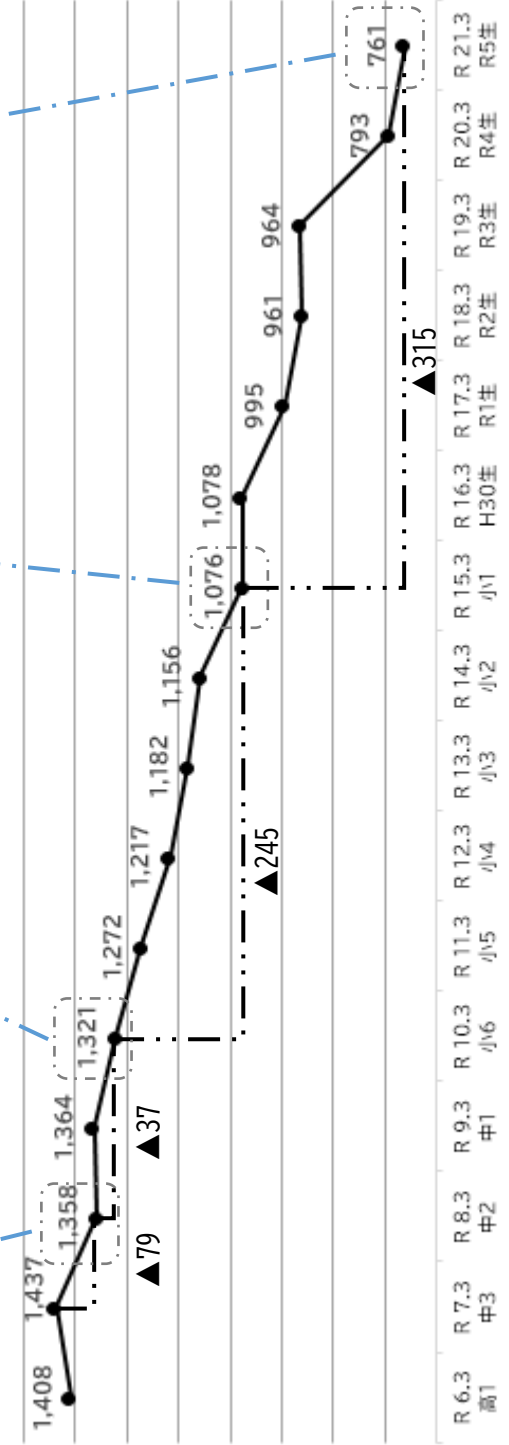
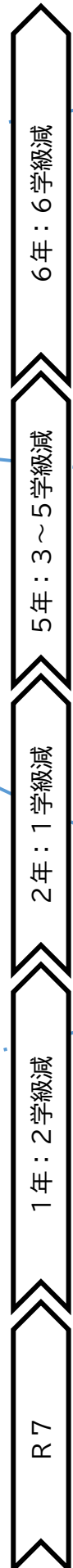
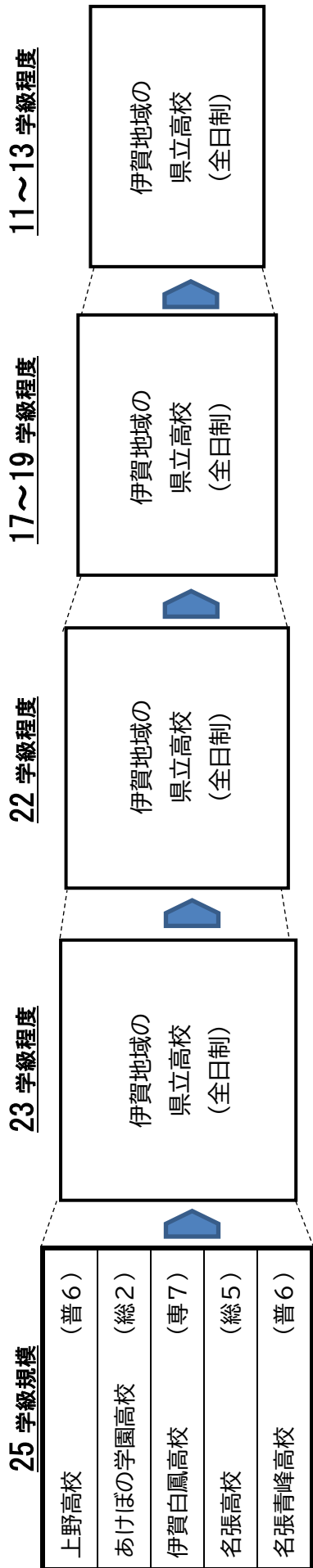
## 総合学科の学び

【伊賀白鳳】		
学科	学科名	コース名
工業	機械	機械
	電子機械	ロボット
		電気工学
	デザ建築 デザイン	建築・インテリア
デザイン		
農業	生物資源	生物資源
	シフード システム	フードサイエンス
		パティシエ
商業	経営	経営
福祉	ヒューマン サービスマン	生活福祉
		介護福祉

【あけぼの学園】		【名張】	
系列名	系列名	専攻	
		表現デザイン	美術
製菓調理			
情報教養	総合ビジネス	ビジネス	情報処理
健康福祉	健康スポーツ	健康スポーツ	健康スポーツ
美容服飾		表現デザイン	ファッション
			音楽
			映像
	人文アドバンス	人文	看護医療

令和 21 年度までの伊賀地域の県立高等学校（全日制）の総学級数と当協議会の協議について

令和 7 年度 (現中 3) 地域の中学校卒業予定者数 1,437 人 (前年度比 +29) 募集定員 1,000 人	令和 8 年度 (現中 2) 地域の中学校卒業予定者数 1,358 人	令和 10 年度 (現小 6) 地域の中学校卒業予定者数 1,321 人	令和 15 年度 (現小 1) 地域の中学校卒業予定者数 1,076 人	令和 21 年度 地域の R5 年度出生者数 761 人
--	---	--	--	------------------------------------



学級減への対応方針  
【R5協議会のまとめ（抜粋）】  
令和 10 年度以降の学級減  
に対しては、現在の 5 校の  
再編も含め検討し、その結  
果を令和 7 年度までに、当  
協議会の考え方としてとり  
まとめる。

## 令和6年度 上野高校（全日制）の特色

### 1 めざす学校像

日本一、生徒・先生がイキイキしている学校

<めざす生徒像>

伊賀を想い、世界を見据え、社会の課題に挑戦し続ける生徒

### 2 学校の特色（理数科1学級＋普通科5学級）

125年の歴史と伝統があり、多くの卒業生が各方面で活躍しています。学業と部活動の両立をモットーに、9割を超える生徒が部活動に加入しており、東海大会や全国大会の場で活躍している部もあります。

学習面では65分授業により、しっかりと考えたり、他者と話し合いを行ったりする時間を確保することができ、充実した学習活動を行っています。生徒は授業後や放課後も積極的に教員に質問したり、教室や自習室、廊下の自習机などを活用したりして、意欲的に学習に取り組んでいます。放課後や長期休業期間には課外授業を充実させるなど、学校をあげて生徒一人ひとりの進路希望の実現をサポートしています。

さらに、予測困難な社会を生き抜く力を育成するため、令和元年度からは文部科学省「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）」の指定を受けて、先進的な理数教育や大学との共同研究、国際性を育む取組等にも力を入れています。また、令和4年度からは文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」の指定を受けて、普通科の探究活動の充実につながるプログラム開発を進め、課題解決力等の育成を図っています。

#### （1）学科の特徴

##### <理数科>

最新の研究と設備を擁する大学等との連携により、生徒の学習に対するモチベーションを高めています。理数科は各学年1クラスのため、理数科ミーティング（理数科1～3年生の集まり）で縦のコミュニケーションも大切にしています。また、理数科独自の行事もあり、本校卒業生が働いている企業や東京大学を訪問する「東京キャリアアップツアー」や、夏期休業期間に2泊3日で実施する「理数科勉強合宿」等を行っています。

##### <普通科>

高等学校の学習を幅広く行い、自分のめざす方向を見つけ、その志望を実現する力を育成しています。普通科は1つの学年に5クラス（現3年生は6クラス）あるので、横の連携を大切にしながら探究学習などを進めています。また、数学の授業において、習熟度別講座を展開するなど、生徒一人ひとりの学習理解等に応じたきめ細かな授業を行っています。

#### （2）充実した学校生活

バス研修、体育祭、合唱コンクール、文化祭、クラスマッチ、修学旅行（2年生）等の学校行事も充実しており、クラスの仲間等と一緒に楽しい高校生活を過ごすことができます。

また、部活動（運動部11、文化部11、同好会2）も熱心に取り組んでおり、より充実した高校生活を過ごすための部活動に出会うことができます。

## 令和6年度 上野高校（定時制）の特色

### 1 めざす学校像

- 生徒が学びがいを実感する学校
- 保護者・地域が頼りがいを実感する学校
- 教職員が働きがいを実感する学校

### 2 学校の特色（普通科1学級）

- (1) 本校は、働きながら学べる夜間定時制として歴史が古く、多くの卒業生が社会で活躍しています。
- (2) SHRが17時25分から始まり、授業は17時30分から21時00分までの1日4限授業です。2限終了後に給食があり、パン、米飯、麺類などを組み合わせた献立です。
- (3) 学科は普通科で、3年と4年では選択科目があり、生徒は興味・関心に応じて学習に取り組んでいます。
- (4) 少人数で一人ひとりに合ったきめ細かな指導を行っています。また「心のふれあい」も大切にしています。
- (5) 国籍や年齢も異なる生徒が、お互いを認め合い、協力しながら一緒に学んでいます。
- (6) 「働きながら学べる学校」として、生徒が昼間働くことを支援するとともに、ハローワーク等と連携を取りながら就職したい生徒への支援を積極的に行っています。
- (7) 授業規律を大切にし、安心して授業に取り組める環境づくりを行っています。また、学び直しにより、基礎学力が身に付く学習環境をめざしています。
- (8) 担任や進路指導部、就職実現コーディネーターと連携し、生徒一人ひとりの希望を大切に、生徒の能力や適性に合ったきめ細かい進路指導を行っています。
- (9) 卒業後は、就職する生徒が多いですが、四年制大学に進学する生徒もいます。授業以外の時間に補習を行うなど、個に応じた支援を行っています。
- (10) 生徒会活動も盛んに行っています。文化祭や球技大会、ボウリング大会などのレクリエーションでも生徒の意見を反映した活動に取り組んでいます。また、バス研修旅行、修学旅行といった学校行事なども行っています。
- (11) 通信制との併修により3年間で卒業することもできます。

本校の定時制は、夜間定時制で、多くの生徒が昼間働きながら夜間に学んでいます。中学校卒業後に入学する生徒がほとんどですが、編入生や20歳を超えてから入学する生徒もいます。在籍している生徒の国籍、年齢、職業は多様であるとともに、中学校時代に不登校を経験している生徒や、もう一度高校で学び直しをしたいと入学してきた生徒など、一人ひとりの事情は異なります。そのような生徒が、違いを認め合い、お互いを励まし合って家族的な雰囲気の中で、安心して前向きに学校生活を送っています。

授業では、必要に応じて中学校の復習を取り入れるなど、わかりやすい授業展開を心がけています。ICTの活用やアクティブラーニング型の授業も多く、生徒の主体的に学ぶ態度の育成に力を入れています。

生徒の「学びたい」気持ちを大切にして、確かな学力や規範意識を身につけ、社会で活躍できる人材の育成をめざしています。

## 令和6年度 あげぼの学園高校（全日制）の特色

### 1 めざす学校像

「強く明るく真心で」を校訓とし、一人ひとりが、あげぼの学園高校の生徒として「自信と誇り」を持ち、地域に貢献し地域から信頼される学校

### 2 学校の特色（総合学科2学級）

あげぼの学園高校は、前身の伊賀高校から平成10年に校名変更、総合学科へ学科改編し27年目を迎えています。「夢を夢で終わらせない！」多様な学びを展開し、充実した学習環境や社会人講師の方々による授業等、しっかりとしたサポート体制のもと学びを深めています。

#### (1) 総合学科4つの系列

2年次からは4つの系列に分かれて、一人ひとりが希望する進路実現に向けて、特色ある多くの選択科目から選んで学びます。

##### ○美容服飾系列

美容やメイクアップやさまざまなデザインに関する知識や技術を広く学ぶことができます。また、檀原美容専門学校通信制課程と連携し、卒業時に美容師国家試験に挑戦することができます。

##### ○製菓調理系列

和菓子、洋菓子やパンづくりに関する理論や技術を学ぶことができます。

##### ○情報教養系列

幅広い教養を身につけるとともに、情報化社会に対応するための知識や技術を学ぶことができます。

##### ○健康福祉系列

福祉や介護に関する知識や技術、さらに健康に生きていくうえでの体力づくり等について学ぶことができます。

#### (2) 個に応じた学び（基礎学力・日本語指導）に向けた取組

3年次の就職試験等に対応できるよう、基礎学力の定着に力を入れています。必修科目の国語・数学・英語は習熟度別や少人数講座で、きめ細かな指導を行い、わかりやすい授業を展開しています。また、日本語指導を必要とする生徒は、選択科目や一部の教科で日本語指導アドバイザーや日本語教師の資格を持つ社会人講師の指導により、社会生活に必要な表現・文化の学習や日本語能力試験に取り組んでいます。

#### (3) 地域に学ぶ

「主体的に考えて行動し、自分の道を自分で切り開き、社会に貢献することができる生徒の育成」を目標に、総合学科の特色ある4つの系列で、「地域に学び、地域と共に、地域のためにできること」を、地元伊賀市と連携して実施しています。

フィールドワークやインターンシップ等の機会を通じ、生徒が地域を知り、魅力を感じ、そして魅力を発信する活動を通して、自分に自信を持ち、これからの伊賀地域を牽引する人へと成長することを期待しています。

#### (4) ICTの活用の推進

令和3年度入学生から、入学時に全員がiPadを購入し、ICT活用能力の育成や学びに向かう力の育成等に取り組んでいます。学ぶ喜びや達成感を実感できる授業を展開しています。

## 令和6年度 伊賀白鳳高校（全日制）の特色

## 1 めざす学校像

- 「力」と「志」を持った職業人を育成し、地域に貢献できる学校  
～地域の学校として、地域の子どもたちを地域で活躍できる人材に育成する学校～

## 【育みたい生徒像】

- ・自ら学び、判断し、行動する生徒
- ・思いやりの心と規範意識をもち社会に貢献する生徒
- ・専門的な知識・技術を身につけ、未来を切り拓く生徒

## 2 学校の特色

（機械科、電子機械科、建築デザイン科、生物資源科、フードシステム科、経営科、  
ヒューマンサービス科 各1学級）

## （1）専門教育

- 工業・農業・商業・福祉の専門教育のノウハウを集結し、魅力ある7学科11種類の学びを通じて、3年間をとおした系統的なキャリア教育を進め、卒業後は各分野のスペシャリストとして伊賀地域での活躍をめざします。
- 1年次の1学期に行う「産業技術基礎」の授業で、全ての学科・コースの学習内容を体験し、2学期から各学科・コースに分かれます。  
2、3年次には、インターンシップや進路ガイダンス等のキャリア教育を通じて、自らの将来について考え、望ましい職業観や勤労観を身に付け、卒業後に社会人となるための意識を高めます。
- 前期選抜はそれぞれの学科で募集し、後期選抜は全ての学科をまとめて募集する「くくり募集」を行っています。前期選抜で入学した生徒はコースを、後期選抜で入学した生徒は学科とコースを入学後に決定します。

## （2）地域・企業との協働による人材育成

- 地域や企業との協働による新しい人材育成システム（伊賀版デュアルシステム）を導入し、毎週木曜日に企業や保育園等で学習を行い、職業人として社会で活躍できる人材を育てます。
- 7学科それぞれが、学科の特性を生かして地域や企業と連携した取組を行っています。学科の枠を超えた取組も多く、全学科の生徒が連携して実施する「白鳳フェス」では、各科の実習作品を展示したり、スイーツやジャム、クッキー、観葉植物、野菜など各科の学習成果を即売したりします。

## （3）部活動の振興

- 伊賀地域のスポーツ・文化の拠点として、部活動の振興を図ります。

伊賀白鳳高校では興味・関心や適性にあった進路を選択し、その実現に向けて基礎学力、専門知識・技術、マナーやコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成します。部活動や各種検定・資格試験における成果や地域と連携した活動をとおして、自信・やる気を高め、地域に貢献できる生徒を育成します。

## 令和6年度 名張高校（全日制）の特色

## 1 めざす学校像

- 校訓である「自律」「協調」「創造」の精神を生かし、地域とともに新時代の社会で活躍できる人材を輩出する学校

## 2 学校の特色（総合学科5学級）

## (1) 名張高校全日制について

- ・総合学科（4系列9専攻） ・創立108年（総合学科23年目） ・地域に開かれた学校
- ・盛んな部活動 ・生徒指導（あいさつ・礼儀の重視） ・SDGsを意識した取組
- ・Society5.0に対応する資質能力の育成のための地域連携

## (2) 系列・専攻の概要 ○系列 ★専攻

## ○文理アドバンス系列

## ★ 人文専攻……大学進学をめざす

- ・文系大学等への進学を実現できる、確かな学力を身につけます。
- ・地域と協働し、社会の課題に取り組むことで学んだことを生かします。

## ★ 看護・医療専攻……医療系への進学をめざす

- ・看護・医療系大学・専門学校等への進学を実現できる力を身につけます。
- ・名張市立病院と名張市立看護専門学校の講師から直接学ぶことで意識が向上します。

## ○ 総合ビジネス系列

## ★ ビジネス専攻……企業の即戦力をめざす

- ・情報やビジネスの基礎を学び、地域や企業で活躍できる力を身につけます。
- ・名張の観光資源を題材に、地域の活性化を考えます。

## ★ 情報処理専攻……情報のスペシャリストをめざす

- ・情報処理や「情報の活用」について学び、情報化社会に対応できる力を身につけます。
- ・名張の観光資源について調査分析をおこない、観光推進案を提案します。

## ○ 健康スポーツ系列

## ★ 健康スポーツ専攻……健康増進のリーダーをめざす

- ・「心」「技」「体」を鍛え、自立心や向上心、協調性を身につけます。
- ・健康体操教室を企画運営することで、健康スポーツ分野のマネジメントを学びます。

## ○ 表現デザイン系列

## ★ 美術専攻……日常を美で彩る

- ・造形表現の基礎となるデザイン、絵画を中心に学び、美術の専門的な力を身につけます。
- ・校外での制作展を企画運営することで、表現の可能性を追求します。

## ★ 音楽専攻……音で心を豊かにする

- ・音楽知識を学ぶとともに演奏技術と自己表現力を身につけます。
- ・校外でのコンサートについて演出、会場準備など、あらゆる行程を自分たちで行います。

## ★ ファッション専攻……イメージをデザインする

- ・自分の表現したいものをデザインし、形にしていく技術を身につけます。
- ・製作した作品をより効果的に表現するため、校外でのファッションショーを行います。

## ★ 映像専攻……魅せる動画を創る

- ・依頼者のニーズを的確に把握し、動画としてまとめていく企画力を身につけます。
- ・地域の商業写真家や写真映像系専門学校の講師から技術を直接学びます。

## 令和6年度 名張高校（定時制）の特色

### 1 めざす学校像

- 校訓である「自律」「協調」「創造」の精神を生かし、地域とともに新時代の社会で活躍できる人材を輩出する学校

### 2 学校の特色（普通科1学級）

#### （1）定時制の教育理念

- 学習・生活の基礎基本を確立し、個の「自律」と社会的な「自立」能力を育成する。

#### （2）本校定時制の特徴

##### ◇ 育みたい生徒像

- ・挨拶や身だしなみなど基本的な生活習慣が身についている生徒
- ・社会で必要とされる基礎的な学力があり、自ら考え判断し行動できる生徒
- ・人権と生命尊重の意識が高く、規範意識や社会的マナーを備えた生徒

##### ◇ 具体的な取組内容

- ・丁寧でわかりやすい授業による基礎学力の定着
- ・トリプルAの取組（あんしん・あいさつ・あきらめない）
- ・多様な生徒に対する多様な支援、サポート

#### （3）名張定時制の3年戦略 ～「自律」と「自立」に向かって（R4～R6）

##### ○ 令和4年度 「生活も学習も基礎・基本」

- ・基礎学力と基本的な生活習慣の確立を目標に、生徒一人ひとりのつまずきのポイントを各教科担当が把握し、少人数の強みを生かし、個に応じた学びに取り組んだ。

##### ○ 令和5年度 「自律に向けて主体的に」

- ・“出来ること増やし”とコミュニケーション能力の向上を目標に、自分や他者の良さに気づき、探究的・協働的な学びにより将来につながる社会性や人間力を高めた。

##### ○ 令和6年度 「社会参画で自立へ」

- ・社会とのつながりを意識し、就労や協働による社会性の構築を目標に、系統的な進路指導を行うとともに、自らの適性を理解し、一人ひとりが自分らしく自立することに必要な力の育成に取り組んでいる。

#### （4）郷土の文化に触れる体験的・協働的な学び

1年次・・・陶芸                      2年次・・・竹あかり

3年次・・・ガラス工芸              4年次・・・組みひも

総合的な探究の時間として、上記の分野について地元で活動している方々を講師としてお招きし、郷土の文化に触れるとともに創作活動をとおして地域の方と関わりながら地元のよさや人とのつながりの大切さを学んでいる。



## 令和6年度 名張青峰高校（全日制）の特色

## 1 めざす学校像

○新時代をたくましく生き抜く未来人を育てる学校

## 2 学校の特色（普通科【文理探究コース】1学級＋普通科5学級）

《普通科・文理探究コース》

○国公立大学や難関私立大学へ進学するために必要な学力を育成するコースです。

○専用の科目群から必要な授業を選択して学びます。

○将来、幅広い分野で専門職として活躍できる資質を育成します。

○学習の意義・本質を探究する態度を育成します。

《普通科（未来創造コースと呼称します）》

○多様な選択科目やキャリア教育により、未来を創造するコースです。

○目標に応じた多様な科目群から必要な授業を選択して学びます。

○四年制大学・短期大学・専門学校から就職まで幅広い進路に対応します。

○自分の個性を伸張し、自らの進路を創造します。

## 3 ICTの活用

○全国で1,010校のDXハイスクールに採択され、最先端の「情報」の授業を提供します。プログラミングによりロボットを動かしたり、3Dプリンターを用いて作品制作をしたりします。また、ChatGPT等、生成AIを授業で活用する取組を始めています。

○全館無線LAN、普通科教室・特別教室にプロジェクター型電子黒板が整備された環境で、生徒一人ひとりが持つChromebookをフル活用しています。授業時間だけではなく、通学の時間や家庭での学習にも活用が進んでいます。

○学校生活のあらゆる場面でGoogle Workspace for Educationの活用が進んでおり、新しい学びのスタイルを展開しています。この取組が評価され、全国で50校程度のGoogle for Educationの事例校に認定されています。

## 4 充実した学習指導とグローバル教育

○放課後・週末等の部活動は、どちらのコースも同じように参加することができます。

○週あたりの授業時間数は50分×32時限で、勉強と部活動の両立を応援します。

○オーストラリアの姉妹校との相互訪問やICTを活用した国際交流を積極的に行っており、英語コミュニケーション能力とグローバル社会で活躍できる資質や能力を育成します。

## 5 探究学習

○探究学習のスキルを学ぶ「青峰探究Ⅰ」や、自分の興味関心を知り、実際に探究・発表することにより、進路実現につなげていく「青峰探究Ⅱ、Ⅲ」の時間があります。3年間をとおして「未来を拓く」ための学習ができます。

## 6 「文武両道」をモットーにした勉学と部活動

○体育系

陸上競技 硬式野球 サッカー バasketボール バレーボール ハンドボール  
テニス ソフトテニス バドミントン 剣道 卓球 ホッケー

○文化系

ESS 吹奏楽 書道 電子計算機研究 放送 写真 美術 文芸 茶道 箏曲  
調理 ヒューマンネットワーク同好会（人権サークル）

## 地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査の実施について

- 調査主体：伊賀地域高等学校活性化推進協議会
- 実施形態
  - 中学生：一人一台端末から Web アンケート（LoGo フォーム）による生徒アンケートを実施
  - 保護者：各市教委から中学校、生徒を通じてアンケートの依頼文を配付  
Web もしくは、紙媒体による保護者アンケートを実施
- 調査対象者
  - 中学生：伊賀地域(伊賀市・名張市)の  
公立中学校に在籍する 2 年生(約 1,300 人)の生徒
  - 保護者：公立中学校に在籍する 2 年生(約 1,300 人)の保護者  
公立小学校に在籍する 5 年生(約 1,300 人)の保護者
- 調査期間：令和 6 年 9 月頃

### 参考：令和 4 年度 伊勢志摩地域の中学生・保護者を対象としたアンケート調査

- 調査主体：伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会
- 調査形態：
  - 中学生：一人一台端末の C B T システム利用による生徒アンケートを実施
  - 保護者：市町教委から中学校、生徒を通じて紙媒体アンケートを配付・回収
- 調査対象者
  - 中学生：伊勢志摩地域の公立中学 2 年生全員  
(伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会町・南伊勢町・玉城町・大紀町)
  - 保護者：同上の保護者
- 調査期間：令和 4 年 10 月中旬～11 月 11 日(金)
- 回答者数
  - 中学生：1,538 人 / 1,702 人 (回収率 90.4%)
  - 保護者：1,391 人 / 1,692 人 (回収率 82.2%)

## 高校や将来に関するアンケート

〇〇地域の中学 2 年生のみなさんへ

令和 6 年 9 月 〇〇地域高等学校活性化推進協議会

**1 あなたは、どこに住んでいますか。次から 1 つ選んでください。**

- ① 〇〇市 ② △△町 ③ ◇◇町 ④ ▲▲町

**2 あなたが所属する学年は全体で何人ですか。次から 1 つ選んでください。**

- ① 20 人以下 ② 21～40 人 ③ 41～80 人 ④ 81～120 人  
⑤ 121～160 人 ⑥ 161～240 人 ⑦ 241 人以上

**3 あなたは、中学校卒業後どのような進路を希望しますか。**

- ① 高校等へ進学（設問 4 以降へ） ② 就職・その他（設問 10 へ）

**4 あなたが高校を選ぶとき、重視する点は何ですか。6 つ以内で選んでください。**

- ① 学びたい学科やコースがある  
② 確かな学力を身につける授業が充実している  
③ 専門的な知識や技能、資格が習得できる  
④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できる  
⑤ 地域と連携した活動が充実している  
⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実している  
⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われている  
⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会い  
⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できる  
⑩ 通学のしやすさ・距離  
⑪ 学校の雰囲気・イメージ  
⑫ 施設・設備の充実  
⑬ 進学・就職の実績  
⑭ 自分の適性や能力  
⑮ 先生や保護者、友だち等の周囲の人の意見  
⑯ 学費などの経費負担  
⑰ その他（設問 5 の自由記述へ）

**5 4 で「⑰ その他」を選んだ人は、重視する点を書いてください。****6 高校の学級は、1 学級 40 人を基本としています。あなたが進学するとしたら、1 学年あたりどのくらいの学級数（人数）の高校に入学したいですか。次から 1 つ選んでください。**

- ① 1 学級（40 人） ② 2 学級～3 学級（80～120 人）  
③ 4 学級～6 学級（160～240 人） ④ 7 学級以上（280 人～）

**7 あなたは高校に、どのような教育を期待しますか。5つ以内で選んでください。**

- ① 自ら学び続ける力が身につく教育
- ② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育
- ③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育
- ④ 地域を題材として学ぶ教育
- ⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育
- ⑥ 人権に対する意識が高まる教育
- ⑦ 基本的な知識が身につく教育
- ⑧ ICTを積極的に活用する教育
- ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
- ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
- ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
- ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
- ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
- ⑭ その他（設問8の自由記述へ）

**8 7で「⑭ その他」を選んだ人は、期待することを書いてください。**

**9 あなたが進学を希望する高校に通学する場合、通学（片道）にかけてもよいと思う時間は、どの程度まで可能ですか。次から1つ選んでください。**

- ① 30分以内まで                      ② 60分以内まで                      ③ 90分以内まで
- ④ 120分以内まで                      ⑤ 121分以上

**10 将来、あなたはどこで生活したり、働いたりしたいですか。次から1つ選んでください。**

- ① 地元（現在住んでいる市町）    ② 地元以外の〇〇地域    ③ 〇〇地域以外の三重県内
- ④ 県外                      ⑤ 海外                      ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻りたい
- ⑦ まだ決まっていない、わからない

**11 「高校や将来に関するアンケート」の内容に関して、考えや思いがあれば、書いてください。**

保護者用

# 伊賀地域の県立高校に関するアンケート

伊賀地域の中学校2年生・小学校5年生の保護者のみなさんへ

令和6年9月 伊賀地域高等学校活性化推進協議会

本協議会では、当地域の県立高校の活性化について協議しており、その中で進学を控える生徒・保護者の方の意見を参考に協議を進めたいと考えています。つきましては、以下の資料を参照のうえ、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。（当地域の中学2年生を対象に、別途、アンケートを実施しています。）

## 【資料】

○グローバル化やデジタル化などの社会の大きな変化、少子・高齢化のさらなる進行、教育的ニーズの多様化が進む中、令和4年3月に策定した「県立高等学校活性化計画」では、これからの子どもたちにとって魅力ある県立高等学校のあり方や活性化について検討し、実現していくこととしています。

○その中で、15年先までの中学校卒業者の減少の状況等をふまえると、これからの時代に求められる学びを提供していくには、現在の県立高校の配置を続けていくことは難しい状況であるため、各地域の活性化協議会において、高等学校の学びと配置のあり方についての検討を丁寧に進めるとしており、伊賀地域においては、本協議会で検討を進めています。

○令和6年度の伊賀地域の全日制県立高校1年生の総学級数（定員）は、5校で25学級規模1,000人となっています。

- ・上野（6学級240人）
- ・あけぼの学園（2学級80人）
- ・伊賀白鳳（6学級規模240人）
- ・名張（5学級200人）
- ・名張青峰（6学級240人）

※伊賀白鳳高校は、6学級規模（240人）で、30人・35人学級により7学級で展開しています。

○令和6年度から21年度までの中学校卒業者数の予測や地域での出生数をもとに、進路状況や他地域との流入などを考慮して学級数を予測すると、現在の25学級規模から令和5年度に生まれた子どもたちが中学校を卒業する令和21年3月には、およそ11～13学級（令和6年度より13～15学級少なくなる）となることが見込まれます。

	令和6年3月	令和10年3月	令和21年3月
中学校卒業生数	1,408人	1,321人	761人
総学級数	25学級規模	22学級程度	11～13学級程度

※中学校卒業生数：令和10年は予測値、令和21年は地域の出生数

( 参 考 ) これまでの協議会の概要や配付資料については、下記のHPをご覧ください。

R5第1回協議会 (R5. 7. 25)



- (資料)
- ・中学校卒業生進路先の推移
  - ・県立高等学校の入学選抜の状況
  - ・地域の各県立高等学校について  
など

R5第2回協議会 (R5. 10. 30)



- (資料)
- ・これまでの協議における意見や考え方
  - ・伊賀地域の専門学科と総合学科の学び
  - ・伊賀地域県立高校の募集定員の推移  
など

R5第3回協議会 (R6. 2. 26)



- (資料)
- ・伊賀地域の県立高校の入学選抜の状況
  - ・中学生・保護者を対象としたアンケート調査の実施について  
など

令和5年度伊賀地域高等学校活性化推進協議会のまとめ

(令和6年2月)



アンケート回答方法等について記載

## 〇〇地域の県立高校に関するアンケート

< 質 問 > あてはまる選択肢の番号に○を付けてください。

1 現在の居住地はどこですか。

- ① 〇〇市 ② △△町 ③ ◇◇町 ④ ▲▲町

2 あなたのお子さんは何年生ですか。2人以上いる場合は、上の学年でお答えください。

- ① 中学2年生 ② 小学5年生

3 お子さんが高校を選ぶときには、何を重視してもらいたいですか。6つ以内で選んでください。

- ① 学びたい学科やコースがあること  
② 確かな学力を身につける授業が充実していること  
③ 専門的な知識や技能、資格が習得できること  
④ 自分の興味関心に応じて多様な学びが選択できること  
⑤ 地域と連携した活動が充実していること  
⑥ 文化祭や体育祭などの学校行事が充実していること  
⑦ 入りたい部活動がある、部活動が活発に行われていること  
⑧ 友だちや先輩、先生などとの多くの出会いがあること  
⑨ 一人ひとりの状況に応じて、きめ細かな教育が期待できること  
⑩ 通学のしやすさ・距離 ⑪ 学校の雰囲気・イメージ ⑫ 施設・設備の充実  
⑬ 進学・就職の実績 ⑭ 自分の適性や能力  
⑮ あなたや先生、友だち等の周囲の人の意見 ⑯ 学費などの経費負担  
⑰ その他（設問4の自由記述へ）

4 3で「⑰ その他」を選んだ人は、重視してもらいたい点を書いてください。

5 高校の学級は、1学級40人を基本としています。お子さんが進学する高校の1学年あたりの学級数（人数）について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。

- ① 1学級（40人） ② 2学級～3学級（80～120人）  
③ 4学級～6学級（160～240人） ④ 7学級以上（280人～）

6 お子さんが入学する高校には、どのような教育を期待しますか。5つ以内で選んでください。

- ① 自ら学び続ける力が身につく教育  
② 自分で問いや課題を見つけ、主体的に取り組む力が身につく教育  
③ 多様な選択肢の中から進路を決定する力が身につく教育  
④ 地域を題材として学ぶ教育 ⑤ 大学や企業等と連携・協働して学ぶ教育  
⑥ 人権に対する意識が高まる教育 ⑦ 基本的な知識が身につく教育

- ⑧ ICTを積極的に活用する教育
- ⑨ 広く世界で活躍できる力が身につく教育
- ⑩ 社会性や協調性、コミュニケーション能力など協働する力が身につく教育
- ⑪ 社会人として必要なマナーや礼儀・責任感が身につく教育
- ⑫ 特別活動や部活動などを通じて豊かな人間性が身につく教育
- ⑬ 一人ひとりの状況に応じて適切な支援が受けられる教育
- ⑭ その他（設問7の自由記述へ）

7 6で「⑭ その他」を選んだ人は、期待することを書いてください。

8 現在〇校合計で1学年あたり〇学級規模ある〇〇地域の県立高校は、15年先の令和21年度には〇～〇学級規模になると見込まれます。今後の〇〇地域の県立高校の配置のあり方について、あなたの意見に最も近いものはどれですか。

次の①～③から1つ選んでください。

- ① 各校の小規模化が進むこととなるが、統合は避けるべき
- ② 大規模・中規模の高校を配置するため、一定の統合は避けられない
- ③ 大規模・中規模の高校をできる限り配置するため、積極的に統合を進めるべき

9 設問8の①～③を選んだ理由や、今後の〇〇地域の県立高校の配置のあり方に関してのご意見をお聞かせください。

10 お子さんが進学を希望する高校に通学するとしたら、通学（片道）にかけてもよいと思う時間は、どの程度までなら可能ですか。次から1つ選んでください。

- ① 30分以内まで
- ② 60分以内まで
- ③ 90分以内まで
- ④ 120分以内まで
- ⑤ 121分以上

11 将来（中学・高校・大学等の学校を卒業後）、お子さんはどこで生活や働いてほしいと考えますか。次から1つ選んでください。

- ① 地元（現在住んでいる市町）
- ② 地元以外の〇〇地域
- ③ 〇〇地域以外の三重県内
- ④ 県外
- ⑤ 海外
- ⑥ 一度は地元を離れても、いつかは戻ってほしい
- ⑦ 特に考えはない

12 今後の〇〇地域の県立高校の学びのあり方について、ご意見があればお聞かせください。

（事務担当） 三重県教育委員会事務局 教育政策課 059-224-2951（平日9:00～17:00）  
ご協力ありがとうございました。